

# 日本人口学会第 56 回大会プログラム (簡易版)

2004 年 6 月 11 日 (金)・12 日 (土) 開催校: 東京大学 会場: 山上会館 (東京都文京区本郷 7-3-1 / TEL 03-5841-2320)

第 1 日 6 月 11 日 (金)

	2 階大会議室	2 階 201 / 202	地階 001	地階 002
9:30 ~ 受付開始				
10:00 ~ 12:30	<b>テーマセッション 1</b> 「ジェンダーと人口問題」 1. 國際人口開発会議「行動計画」履行 10 年の中間評価: ジェンダーの視点から 2. ジェンダーとリプロダクティブ・ライツ 3. 途上国の現場で考えるジェンダーとリプロダクティブ・ヘルス 4. 若者性行動調査からみたジェンダー: ニカラグア国グラナダ県の高校生について 5. 途上国における所得水準の変化とジェンダーバイアス: 幼児死亡率の男女格差を中心に 6. 夫の家庭役割と夫婦の出生力との関連について	自由論題報告[第 1 部会] 1. 子どものコストが少子化に与える影響 2. わが国コーホート出生力の動向とその要因 3. 出生率回復の条件: ヨーロッパの経験に学ぶ ----- 4. 地域間出生力格差に関する要因分析 5. 年齢別有配偶出生率について 6. 若年世代における子ども需要の変化: 出生動向基本調査から	自由論題報告[第 2 部会] 1. 中国新疆和田地区における高離婚率 2. 中国の出生性比不均衡についての現状と問題 3. 中国における人口流動と戸籍制度改革 ----- 4. イスラエルの人口問題: 矢内原忠雄「論文」を基調に 5. 東南アジアにおけるイスラムと夫妻の就業行動: SWAF データの比較分析 6. ロシアの地域別人口変動: 1989 年と 2002 年の国勢調査の比較	自由論題報告[第 3 部会] 1. 年齢各歳別死亡確率推定手法の改良と都道府県別生命表 2. 生後 1 年間の死亡率の年齢パターン: 日本と米国 3. 宮城県の地域別死亡率の解析 ----- 4. 健康状態を入れた世帯の将来推計 5. 人口・世帯構造と所得格差 6. 平成 12 年国勢調査の精度検証について
12:30 ~ 13:45	昼休み	( 理事会	学士会館分館 6 号室 )	
13:45 ~ 13:55		開催校代表挨拶	2 階大会議室	
13:55 ~ 15:00		会員総会	2 階大会議室	
15:00 ~ 18:00	シンポジウム 「少子社会のリプロダクティブヘルス」	1. 少子化社会におけるリプロダクティブヘルスの意義と課題: 問題提起 2. ヒトの性・生殖過程: 人口統計学的方法と課題 3. 家族計画と性感染症予防: 保健医療の立場から 4. 不妊と生殖技術: 現状と倫理的・社会的諸問題		2 階大会議室
18:00 ~ 20:00		懇親会	1 階宴会場	

第2日 6月12日(土)

	2階大会議室	2階201/202	地階001	地階002
9:30~受付開始				
10:00 ~ 12:30	<b>テーマセッション2</b> 「マイクロデータを用いた人口分析」 1. 現代女性の離家と結婚に関する分析：離家経験は女性の結婚を早めるか？ 2. 男子結婚行動に関する分析 3. 婚前妊娠と配偶者選択：新しい家族形成パターンの位置づけに向けて 4. オランダのパートナーシップヒストリー：日本との比較 5. 既婚女性の就業中断・再就業のイベント・ヒストリー分析：全国家族調査データを用いた検討 6. 若年フリーター増加がもたらす将来の人口構造への影響：マイクロシミュレーションモデルによる人口の将来推計	自由論題報告[第4部会] 1. 婚前妊娠の規定要因 2. 親子間関係と結婚行動 3. 祖父母と孫の関係からみた世代間支援 ----- 4. わが国における就業と家事 5. 「ケアする家族」と子育ての困難 6. 労働時間が女性の就業継続に及ぼす影響	自由論題報告[第5部会] 1. 貧困削減をめぐる開発経済学の新しい展開と人口政策 2. 環境クズネツ曲線と人口：欧米諸国とアジア諸国の事例 3. タイ国バンコクにおける高齢者の同居行動と生活の質について ----- 4. インドの家族計画 5. インドにおける人口転換の波及：アーンドラ・プラデーッュ州の事例 6. ヤミ中絶から避妊へ：米軍統治下沖縄の出生力転換と助産婦たちの活動	自由論題報告[第6部会] 1. 日本と地域の少子高齢化の推移比較 2. 東京都心地域における純移動率と年齢構造の変化 3. 北海道における少子化の特徴 ----- 4. 小地域データを利用したコホート変化率による地域分析 5. マルコフ連鎖モデルによる都道府県人口の分析 6. 戦後日本の長距離人口移動の決定因子の変化について：1970年から2000年の国勢調査結果を利用して
12:30 ~ 14:00	昼休み			
14:00 ~ 16:30	<b>テーマセッション3</b> 「形式人口学的方法とその応用」 1. 多相生命表による平均就業期間の分析 2. 期待所得と出生率 3. 「より多く」から「より早く」：年齢シフト出生率の将来人口への影響 4. 沖縄における死亡率の推移（1921 - 2000年） 5. 人口減少期における人口諸変数の形式人口学的分析	自由論題報告[第7部会] 1. 少子化を政策課題とすることの妥当性について 2. 逆転の論理：「人口」の登場 ----- 3. 日本の人口ボーナスの終焉 4. 人口変動、経済成長及び社会保障財政の長期展望 5. 人口政策の厚生分析	自由論題報告[第8部会] 1. 1990年代におけるタイの国内人口移動：労働力調査の個票データによる分析 2. タイにおける女性の人口移動と結婚行動：2000年センサス個票データを用いて ----- 3. ラオスの人口移動と出生率 4. マレーシアの経済発展と人口変動 5. 中国の国際人口移動	自由論題報告[第9部会] 1. 日本人口の地理的分布に関する歴史的考察 2. 近世上名栗村の養女に関する分析 3. 石見天領の人口変動 ----- 4. 『日本疾病史』データベース化の試み 5. 年齢別死亡率を用いた歴史人口遷移推計 6. 統計GIS プラザについて

( 2004.04.25 現在 )

自由論題の報告時間は15分，質疑応答は10分です。配布資料は，報告の30分前までに会場の進行係にお渡しください。  
報告者等詳細は大会プログラムでご確認下さい。

(作成：日本人口学会広報委員会)